

ほけんだより 6号

長い夏休みも終わり、2学期がスタートしました。生活のリズムはくずれていませんか？まずは、朝起きたら、窓を開けて太陽の光を浴びること、朝ごはんを食べることから始めてみてください。2学期もみなさんが、笑顔で登校できるようサポートしていきたいと思っています。



子どもの誤飲 特にこわいのはこれ



ボタン電池

放電して消化管に穴をあけ、重症化する可能性があります。海外では死亡例も。

タバコ

吸い殻が漬かった茶色い水や濡れたタバコは、ニコチンが短時間で吸収されやすく特に危険。

医薬品

お菓子に似ていて、子どもの手がのびやすい薬。向精神薬や血圧降下剤などは重い中毒の危険も。

正しい応急手当、できますか？

保護者の方へ



頭をぶつけた

まず、しっかり氷のうなどで冷やそう。しばらくは、激しい運動はしないで静かに休もう。



目にゴミが入った

水でゴミを洗い流そう。手でゴシゴシすると目に傷がつくことがあるので注意してね。



覚えておくと便利な番号

★ #8000

→夜間における子どもの救急相談窓口

★全国版救急受診アプリ Q 助

★日本中毒情報センター

072-727-2499 (大阪)

029-852-9999 (つくば)

すり傷ができた

水道の水で傷口をよく洗おう。傷口についた砂や土などの汚れを洗い落とそうね。



つき指をした

冷たい水や氷を入れたビニール袋などでしっかり冷やそう。指を引っ張るのは、やめようね。

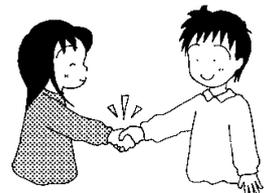


性教育研修会がありました。

8月22日(水)に保護者、職員を対象に池田クリニック院長、池田稔先生に「泌尿器科医からみた思春期の心と体」と題して、御講話いただきました。

二次性徴や性差など体に関すること、パーソナルスペース、TPO、男女の関わり方、命の尊さなど、幅広い内容を話していただきました。

“性”は生きていく上でとても大切なことであり、子どもたちに正しい情報を伝えることで、自分で判断し、行動できるようにすることが重要だと言われていました。そのためには、私たち大人が性に関して正しい知識を持つ必要があります。保護者の方々と連携しながら、一緒に考えていきたいと思っています。



講演で配付された資料が保健室にありますので、必要な方は担任までご連絡ください。